



質問時間 60分

椎名 義光 議員

農業に対し助成する制度を作れないか

今後援助していく方向性を検討します

農業問題について

問 農業の担い手の対象を農業認定者だけではなく、今、がんばろうとしていてる全ての人を対象にして、研修などへの助成はもっと年齢の上の人も含めることはできないか。また、機械の買い替えができなく農業をやめるようなことがないよう、機械、施設の更新に対して直接助成する制度を作れないか伺います。

町長 意欲のある方についての研修補助などができれば、農業も継続できるんだと思うのですが、現実にあるのではないかと思います。今後十分援助していく方向性を検討してみたいと考えております。



農業を支える後継者たち

合併について

問 町が合併協議を申し入れたということは、成田市が明日から協議をしましょうといった時は、即、町の態度を決めなければならぬことです。学校統廃合計画についても、町長が教育委員会に諮問したようですが、成田市が現在進めている統廃合に合わせたことなのか、独自の方針なのか伺います。

教育長 義務教育の統廃合については、合併を前提として考えておりません。多古町の少子化という側面から討議しています。

小学校は平成5年と平成18年に、2回統合をしているわけですので、更に統合を進めていいかという問題があります。もう一つは、小学校は地域の共同財産的側面もあり、地域コミュニティと大きくかかわっています。また、通学距離等の問題もあり、慎重に考えていくことで、答申を出せないでいるのが現状です。

問 子どもが減ると教育の質が落ちるとか、設備費に金がかかるとか心配されていますが、町の持ち出しは増えるのかどうか伺います。

企画財政課長 児童数によって交付税の措置があります。施設が減少すれば、町の管理ですので、管理費が変わってくると思います。

が、再編に向けて取り組みを始めたところです。



多古中央病院の療養病床

奨学金制度について

問 経済的困難を理由に、学生、高校生が退学を余儀なくされている状況が生まれています。国の運営する奨学金制度改善により利率が引き上げられ、教育ローン化が進んでいる中、町の奨学金制度は非常に重要になっています。制度の拡充を図り、給付事業や入学準備金なども含む現行制度の引き上げに取り組んでください。

町長 平成18年度から一部見直しにより、高校在学者月額2万円、大学在学者月額3万円の貸付を開始しましたが、本町の貸付状況はやや少ないと考えられます。入学準備金貸付制度については、県内の一部市町村で制度化して

問

合併の時には、必ず中央病院問題は議論されると思いますが、この地域にくてはならない、町民の命を守る場所であるし、開業医も含めた地域医療の中核的な自治体病院という位置付けを、ぜひ堅持していただきたいと思います。この立場から今後の方向性を考えるのか、あるいは全く民間に中身を渡してしまう考えなのか伺います。

町長

現在の自治体運営の病院を維持したいという思いは十分持ち合わせております。しかし今後は、非公式ですが関係隣接病院との協議を重ねるなかで、分院になれるのかどうか、医療連携で部門分担できるのかなどについて話し合いをしていきます。今は具体策はありませんが、今後、合併問題とはかわらない次元で、検討をしてまいります。

問

大学、専門学校を含め初年度納付金や住居費等々入学に要する経費は平均300万円を超えます。そのため、奨学金給付事業（例：東庄町83,000円上限）や入学準備金貸付（例：銚子市100万円上限）など設け努力されている現状があります。本町でも基金の有効活用を図り実施にむけた努力をお願いします。加えて、財産調査や保証人など資格要件の緩和、返済については、卒業してもワーキングプアや派遣など厳しい就労状況ですので、一定の収入に達するまでの猶予期間と基準緩和措置を図ってください。

町長

子供の教育は大事だという認識は共通しております。そういう面で少しでも援助をスムーズにできるように運営審議会で議論を重ねて、改善を図れるところは改善していく方向で努力していきます。

石渡 悦子 議員

多古中央病院 療養病床の見通しは

質問時間 60分

現状での具体案は持ち合わせておりません

介護保険制度について

問 国は、療養病床削減を打ち出しています。多古中央病院内の療養病床の見通しについて伺います。

町長 国としては介護療養病床（現在12万床）については平成23年度末で廃止とし、各医療機関等に老人保健施設などへの転換を促しています。また医療療養病床（現在25万床）については、22万床を確保、3万床は老人保健施設などへの転換を図る方向です。多古中央病院療養病床の方向性については、審議会の中で議論を重ね検討を加えていただくということで考えております。現状での具体案は持ち合わせておりません。療養病床56床の方向性が全く見えません。町の考えを示してください。

病院事務長

今、県が各医療機関に対して、入院療養病床の再編について意向調査をしています。現時点では、多古中央病院の方向性は未定です。現在ある療養病床（介護30床・医療26床）の30床について、平成23年度末で制度の流れから廃止。他の施設に転換という方向性は示されています。その中で、転換施設の特長や町の需要動向、病院の運営上どのような施設が良いのか等々、勉強会をやっている状況です。開設者の町長を含め、病院内でいろいろ協議を重ねながら、時期としては遅いかも知れませんが、

問

経済的困難を理由に、学生、高校生が退学を余儀なくされている状況が生まれています。国の運営する奨学金制度改善により利率が引き上げられ、教育ローン化が進んでいる中、町の奨学金制度は非常に重要になっています。制度の拡充を図り、給付事業や入学準備金なども含む現行制度の引き上げに取り組んでください。

町長

平成18年度から一部見直しにより、高校在学者月額2万円、大学在学者月額3万円の貸付を開始しましたが、本町の貸付状況はやや少ないと考えられます。入学準備金貸付制度については、県内の一部市町村で制度化して